



## 福田 匡史 栃木支部 副支部長

身近にこういう施設があることを初めて知りました。  
もっとたくさんの方に知ってもらえたらいいですね。

今回は栃木支部・副支部長の福田匡史選手に、地域の中小企業を中心に技術支援を行っている栃木県産業技術センターを訪ねていただきました。競輪補助事業で導入された機器の見学や説明を受けての感想、また支部についてのお話などを伺いました。

# 競輪つてこんなこと やっつているんだ!!

神山雄二郎を中心に良い形を作りたい。  
もっと特別競輪に出られるような人材が  
増えてくれれば。

——まずは施設を見学されての印象は  
いかがですか。

「こんな近くにこういう施設があることを  
全く知らなかったので、ちょっとびつくり  
しました。勉強不足かも知れないんで  
すけど、実際競輪の売り上げがどんなふう  
に使用されているかよく分かっていたなっ  
たというのを感じましたね。出来ればこ  
の施設ももっとたくさんの方に知っても  
らえたらいいと思います」

——補助事業に対してはどんな思いを  
持たれましたか。

「例えば検診車とかについている競輪の  
マークも、自分たちはすぐに『あれは競  
輪の補助事業だ』と分かりますけど、一  
般の方が見た場合どうなんだろうとは  
感じますけど。むしろストレートに『競

輪』と書いてあったほうが分かりやすいの  
かなっていうのはありますよね」

——栃木支部についてですが、現在の雰  
囲気などは？

「以前に比べると人数はかなり少なくは  
なってきましたけど、それでもベテラン  
から若手まで本当に頑張っていますし、  
練習も皆で一緒にバンクでやったりして、  
いい雰囲気だとは思っていますよ」

——支部で行っている社会貢献活動や  
ファンサービスなどはありますか。

「毎年12月には知的障害者施設を慰問  
して、餅つきをやったり。これはもうずい  
ぶん前から続いていますね。競輪場内での  
ファンサービスは雁部護支部長が中心  
になって選手のトークショーを開いたりし  
ています」

——副支部長の福田選手が考える、栃  
木支部のこれからは？

「やっぱり神山雄二郎というあれだけのす  
ごい選手が身近にいるわけですから、もっ  
ともっと特別競輪に行けるような人材  
が増えて行つてくれればいいなと思いま  
すね。いとこの拓弥も刺激されて頑張っ  
ているし、本当に雄二郎がリーダーシップ  
を取るような感じで周りも一緒にやっつ  
ていけば、すごくいい形になるんじゃないか  
と思うんですけど」

——福田選手自身の今後の目標も聞か  
せて下さい。

「僕の個人的な目標は、やっぱり一日でも  
長く選手をやることですね」

——お兄さんの陽生選手、祐治選手、  
弟さんの篤司選手も頑張っているらしい  
ですね。福田4兄弟はまだまだ健在で  
すね！

「僕が先に辞めるわけにいかないですよ  
(笑)。今、甥っ子が100回生で競輪学校  
にいますので、それも楽しみなんですけど」

——最後にファンの皆さんにメッセージ  
をお願いします。

「まだ競輪を観たことがないという方に  
も、まずは度でもいいから観てもらって、  
スピードと迫力を感じていただけたらと  
思います」